

事業者向け

放課後等デイサービス・児童発達支援 自己評

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	87%	13%		十分なスペースがある。 その日の利用者数によって異なる。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%			十分である。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	12%	76%	12%	階段に手すりがある。 庭のバリアフリー化が必要。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	13%	87%		日々の申し送りやミーティングはあるが、目標設定等はない。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	25%	75%		保護者アンケートを実施し、また迅速に改善に努めている。 業務改善にはつなげていない。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%			HPで公開出来ている。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13%	87%		できている。 よくわからない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	38%	62%		できている。 不十分だと思う。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	38%	62%		保護者の意向の反映が不十分だと思う。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	38%	62%		アセスメントツールを使用できているのか分からない。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	62%	38%		毎月チームで話し合い、立案できている。 話に参加したことがない。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	75%	25%		様々な職員から意見を取り入れ、毎月新しい遊びなどに挑戦できている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	25%	75%		申し送りの際に課題を決め取り組んでいる。 長期休暇の際は内容が薄くなってしまう。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	50%	37%	23%	出来ている児童もいるが、不十分な児童もいる。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50%	50%		毎日、活動前に申し送りが出来ている。 役割分担が不十分。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	50%	50%		翌日の申し送りの際に、前日の振り返りを必ず行っている。 当日には行えていない。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	75%	25%		ノートやファイルにして保管・管理をし、改善につなげている。 不十分である。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	87%	13%		送迎の際、保護者へのモニタリングを3か月に1度おこなっている。 もっとしっかりモニタリングを行うべき。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	37%	50%	13%	ガイドラインが分からない。今後改善して行きたい。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	62%	25%	13%	基本的に管理者が出席している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	63%	37%		管理者を通して予定の変更等を把握している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	13%	87%		現段階では医療ケアが必要な子がいない。それぞれのかかりつけの病院は把握している。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	38%	62%		現在通所している事業所とは連携に努めているが、以前の事業所とは取れていない。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	38%	62%		現在そういったケースはないが、必要時には行っていく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	13%	62%	25%	管理者が会議や電話対応で行っている。また研修も参加している。 わからない。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		25%	75%	この時期は関わるのが難しいので行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		75%	25%	参加できていないので、今後改善していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	75%	25%		送迎時にデイや学校での様子なども伝えあっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	13%	25%	62%	家族支援は出来ていない。今後トレーニング等の支援を行っていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	50%	50%		管理者が行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	50%	50%		送迎時やモニタリングの際の声掛け、また電話対応も行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		25%	75%	行っていないので、今後家族同士の交流の場を設けていきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	62%	25%	13%	迅速に対応、改善策を考えている。スタッフ間で共有し、改善に努めている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	37%	50%	13%	毎日の連絡帳の作成、配布を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	75%	25%		外部で会話など、徹底して気を付けている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%	33%		子どもには絵カードを使用している。保護者の方とは送迎時に積極的に声を掛けコミュニケーションを取るようになっている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	13%	62%	25%	事業所内だけでの活動になっているので、改善していきたい。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	37%	63%		各種マニュアルの確認を全職員行っている。また確認した際はサインを残している。一度読んだきりで内容を忘れてしまった。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	37%	50%	13%	避難訓練を実施しているが、年に1、2回しか出来ていないのもっと頻繁に行いたい。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	62%	38%		研修を実施している。虐待に力を入れた研修も行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	62%	38%		契約時に説明を毎回行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	50%	50%		現段階では該当児がいないが、必要時には行っていく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	37%	13%	毎月作成し、ファイリングしている。職員間でも共有している。